

2025年度 北海道大学大学院 文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	☒ 一般入試 ☒ 外国人留学生特別入試 ☐ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（ 地域科学 ）
出題の意図	問 1 本設問では、社会生態学分野から 2 問、人文地理学分野から 2 問、地域社会学分野から 2 問が出題されており、各分野の基礎概念を用いて専門的な議論を行う能力や、専門的な知識を現実問題に応用する能力を見る。 問 2 本設問では、社会生態学、人文地理学、地域社会学、およびその近接分野で用いられている専門用語の理解度を確かめるとともに、指定された文字数で、それらの意味を専門的な見地から明確に説明する能力を評価する。

2025年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 地域科学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1 枚、解答用紙 4 枚を配付する。

問1は、小問1問につき解答用紙1枚を使用すること。問2は、小問5問で解答用紙2枚を使用すること。なお、選択した小問の番号を解答用紙に記すこと。また、各問では図を用いて説明を行ってもよい。

問1 下記の設問から2つを選択して解答せよ。

1. イスラム諸国出身の技能実習生について、彼・彼女らが数多く暮らす地域で調査すると仮定したとき、どのような人・組織などに対し、いかなる研究手法で調査を実施するか、その理由とともに説明せよ。
2. 東南アジア諸国における1980年代以降の経済発展について、貿易・投資・金融に注目して論じよ。
3. 気候変動などのグローバルな問題を探求しようとするとき、ローカルなレベルでフィールド調査を行うことの意義や注意点について、必要に応じて具体的な事例や方法を挙げながら、論述せよ。
4. 貧困や社会的孤立の問題について調査研究したいとき、政府の政策、地域コミュニティ、個人（あるいは世帯）のそれぞれについて、何をどう研究し、それをどう関連させていけばよいだろうか。必要に応じて具体的な事例や方法を挙げながら、論述せよ。
5. 野生動物の保全や管理におけるGIS技術の貢献について、複数の分野から具体的な例をあげて説明せよ。
6. ニホンジカなど大型草食獣の高密度化によって生じる問題について、自然生態系と人間社会の観点からそれぞれ述べよ。

問2 次の用語から5つを選択し、専門的な見地からそれぞれ200字程度で説明せよ。

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1. 空間的同化論 | 9. ソーシャル・イノベーション |
| 2. エスノバップ | 10. 社会-生態システム (social-ecological system) |
| 3. フードセキュリティ (食料安全保障) | 11. 生息地管理 |
| 4. トランスフォーム断層 | 12. 密度依存性 |
| 5. 亜熱帯砂漠 | 13. 生態系サービス |
| 6. 要塞型自然保護 (fortress conservation) | 14. 季節移動 |
| 7. 半構造化インタビュー | 15. 鳥獣の捕獲技術 |
| 8. 無作為抽出市民討議 | |